

1年		2年		3年		4年	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester

凡例: 共通科目 計画系 環境系 構造系 その他	デザイン演習1 前2 数学演習1 前1	デザイン演習2 後2 数学演習2 後1	建築音・光環境2 前2	構法計画B 後2	プロジェクト研究 前1 近代建築史 前2 都市計画 前2 設計監理 前2 建築ディテール 前2 現代建築 前2	パラメトリックデザイン 後1 建築数理(クォーター) 後1 建築生産 後2 建築空間論 後2 都市史 後2 計画理論 後2 都市デザイン(クォーター) 後2 ランドスケープ(クォーター) 後2	建築環境工学A 前2 建築設備設計 前2 建築防火 前2	建築環境工学B 後2 建築環境工学C 後2 建築設備計画 後2 建築維持管理技術 後2 建築基礎構造 後2 応用構造・材料工学 後2 木質系構造 後2 構造計画 後2	建築構造設計製図 前2
	デザイン演習1 前2 数学演習1 前1	デザイン演習2 後2 数学演習2 後1	建築音・光環境2 前2	構法計画B 後2	プロジェクト研究 前1 近代建築史 前2 都市計画 前2 設計監理 前2 建築ディテール 前2 現代建築 前2	パラメトリックデザイン 後1 建築数理(クォーター) 後1 建築生産 後2 建築空間論 後2 都市史 後2 計画理論 後2 都市デザイン(クォーター) 後2 ランドスケープ(クォーター) 後2	建築環境工学A 前2 建築設備設計 前2 建築防火 前2	建築環境工学B 後2 建築環境工学C 後2 建築設備計画 後2 建築維持管理技術 後2 建築基礎構造 後2 応用構造・材料工学 後2 木質系構造 後2 構造計画 後2	建築構造設計製図 前2

専門科目 (選択22単位)	2科目中1科目 選択必修	3科目中2科目 選択必修	設計製図3 前2 建築環境測定 前2 建築構造・材料実験及び演習 前2	第一部門(計画)設計及び演習 後3 第二部門(環境)実験及び演習 後3 第三部門(構造・材料)実験及び演習 後3	建築・都市設計 前2
---------------	--------------	--------------	---	--	------------

専門科目 (必修44単位)	建築音・光環境1 後2	日本建築史 前2 構法計画A 前2 建築計画1 前2 建築熱・空気環境1 前2 建築材料1 前2	世界建築史 後2 建築計画2 後2 建築設備概論 後2 建築熱・空気環境2 後2 金属系構造1 後2 建築振動1 後2	建築施工 前2 建築法規 前2 コンクリート系構造 前2	卒業研究及び卒業制作1 前3 卒業研究及び卒業制作2 後3
---------------	-------------	--	--	------------------------------------	----------------------------------

専門基礎 (必修12単位)	設計基礎1 前2 図学 前2 建築概論 前2	設計基礎2 後2	力学基礎及び同演習 前2 材料力学及び同演習 後2	計画系(第1部門) 豊かな暮らしを営むために必要な住まい・オフィス・公共施設など人間を取り巻く様々な空間を、プランニングの立場から総合的にとらえる分野です。建築計画、都市計画、設計計画、構法計画、歴史意匠などがあります。将来は、建築・都市設計(企画・意匠設計)、都市計画、再開発、マネジメント、保存再生などの専門家等を目指します。 環境系(第2部門) 人間や建築は外皮を通して外界と熱などのやり取りをしています。環境系では、熱・光・空気・音などのやり取りによる物理的・心理的現象を理解し、環境負荷の少ない快適空間の構築を目指しています。将来は、設備設計、設備施工、設備管理、環境・設備関連技術の開発・研究に
---------------	------------------------------	----------	------------------------------	--

基幹基礎 (必修16単位) (選択必修2単位)	線形代数1 前2 微積分1 前2 物理学1 前2	線形代数2 後2 微積分2 後2 物理学2 後2	デジタルデザイン 前2 プログラミング概論 後2	構造系(第3部門) 美しく安全・安心な生活環境と持続可能な都市の構築を目的に、地震災害などの災害に強い建築や、造形的に優れた建築を造るための技術や設計法を扱う分野が構造系です。この分野に進んだ場合、建築構造設計、耐震診断及び補強などに携わる専門家や研究者を目指します。
----------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--

一般教養科目 英語系(必修6単位) (選択必修2単位)	Listening & Speaking I a 前1 Reading I a 前1	Listening & Speaking I b 後1 Reading I b 後1	Reading II a 前1 Listening & Speaking II a 前1 Writing & Composition II a 前1	Reading II b 後1 Listening & Speaking II b 後1 Writing & Composition II b 後1
--------------------------------	---	---	--	--

一般教養科目 (選択20単位) 初習外国語系 (選択2単位)
 1年生から3年生の間にバランスよく履修する

1年 建築学の基礎を学ぶ		2年 共通の科目内容を学ぶ		3年 専門性を強めた内容を学ぶ		4年 卒業研究と卒業制作	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester

1年 建築学の全体像をつかむことを目的に、必修である建築概論、設計基礎、図学、建築環境工学概論、力学基礎、材料力学、数学に加え、物理学、化学、デザイン演習などの選択必修・選択科目を履修することで、建築学の基礎を学びます。

2年 計画系・環境系・構造系からなる専門領域の基礎を固めることを目的に、必修である設計製図1・2、建築計画、建築史、構法計画A、建築設備概論、建築材料1に加え、建築環境(熱空気音)、構造力学、構造デザイン、金属系構造1、建築振動1などの選択必修科目など、各部門の専門科目共通の科目内容を学びます。

3年 計画系・環境系・構造系に設けられた設計・実験・演習に関する選択必修科目の履修を通じて、各自が、将来進みたいと考える専門分野を絞り込みながら、卒業研究の基礎となる専門分野の内容を深く学びます。

4年 計画系・環境系・構造系いずれかの研究室に所属し、これまで学んできた建築に関する専門知識の集大成として、年間を通じて卒業研究および卒業制作に取り組めます。各自のテーマについて研究や制作をまとめます。担当教授や研究室の仲間とともに、もっとも充実した日々となります。

1年		2年		3年		4年	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester

専門科目 (選択24単位)	凡例: 共通科目 計画系 環境系 構造系 その他	設計及び実測演習 前 2 1(社)	建築デザイン総合 前 3 演習(社)	都市計画(社) 後 2 設計監理(社) 後 2 建築エンジニアリン グ(社) 後 2 木質構造(社) 後 2 避難安全工学(社) 後 2 建築基礎構造(社) 後 2 鉄骨構造(社) 後 2 設計製図4(社) 前 3
	建築防災工学(社) 前 2 建築構造力学(社) 前 2 建築振動(社) 前 2 鉄筋コンクリート構 造(社) 前 2			

専門科目 (選択必修11単位)	設計製図5(社) 前 3 卒業設計1(社) 前 4 → 卒業設計2(社) 後 4 論文講読及び演習 1(社) 前 2 → 論文講読及び演習 2(社) 後 2 卒業研究1(社) 前 4 → 卒業研究2(社) 後 3	どちらか1つを 選択必修
--------------------	---	-----------------

専門科目 (必修36単位)	構法計画(社) 前 2 建築環境工学(社) 前 2 コンピューターリテ ラシー(社) 前 2	建築計画(社) 後 2 建築設備(社) 後 2 構造力学及び演習 (社) 後 3 仕上材料(社) 後 2 建築施工(社) 後 2	日本建築史(社) 前 2 建築意匠(社) 前 2	世界建築史(社) 後 2 構造計画(社) 前 2 建築法規(社) 後 2
	設計製図1(社) 前 3 → 設計製図2(社) 後 3 → 設計製図3(社) 後 3			

専門基礎 (必修13単位)	設計基礎1(社) 前 3 → 設計基礎2(社) 後 3 建築概論(社) 前 2 現代建築概論(社) 前 2 力学基礎及び演習(社) 前 3	計画系(第1部門) 豊かな暮らしを営むために必要な住まい・オフィス・公共施設など人間を取り巻く様々な空間を、プランニングの立場から総合的にとらえる分野です。建築計画、都市計画、設計計画、構法計画、歴史意匠などがあります。将来は、建築・都市設計(企画・意匠設計)、都市計画、再開発、マネジメント、保存再生などの専門家等を目指します。
	環境系(第2部門) 人間や建築は外皮を通して外界と熱などのやり取りをしています。環境系では、熱・光・空気・音などのやり取りによる物理的・心理的現象を理解し、環境負荷の少ない快適空間の構築を目指しています。将来は、設備設計、設備施工、設備管理、環境・設備関連技術の開発・研究に携わる	

基幹基礎 (必修12単位)	建築IT概論(社) 後 2 微分積分学(社) 通 4 線形代数学(社) 前 2 物理学1(社) 前 2 物理学2(社) 後 2	構造系(第3部門) 美しく安全・安心な生活環境と持続可能な都市の構築を目的に、地震災害などの災害に強い建築や、造形的に優れた建築を造るための技術や設計法を扱う分野が構造系です。この分野に進んだ場合、建築構造設計、耐震診断及び補強などに携わる専門家や研究者を目指します。
------------------	--	--

一般教養科目 英語系(必修6単位) (選択必修2単位)	2年次編入学時に未履修の学生は2~4年時に取得
-----------------------------------	-------------------------

一般教養科目 (選択20単位)	2年次編入学時に未履修の学生は2~4年時に取得
--------------------	-------------------------

2年 建築学の基礎を学ぶ	3年 専門性を強めた内容を学ぶ	4年 卒業研究と卒業制作
3 Semester	4 Semester	5 Semester 6 Semester 7 Semester 8 Semester

建築学の全体像をつかむことを目的に、必修である建築概論、設計基礎、力学基礎などに加え、並行して設計製図や建築環境工学などの科目を学修することで、編入学生にあわせ、建築学の専門領域の基礎を固めます。

選択必修科目の履修を通じて、専門分野の理解を深め、卒業研究の基礎となる専門分野の内容を深く学びます。

卒業研究もしくは卒業設計のいずれかを選択し、これまで学んできた建築に関する専門知識の集大成として、年間を通じて卒業研究および卒業設計に取り組めます。各自のテーマについて研究や制作をまとめます。担当教授や研究室の仲間とともに、もっとも充実した日々となります。